マグネットスイッチとセルモータの故障判定の方法

１．AとBの直結でセルが回る場合、

マグネットスイッチ：正常
セルモータ：正常

トラブルシューティングを参照し、他の原因を探す

２．AとBの直結ではセルは回らず、BとCの直結でセルが回る場合、

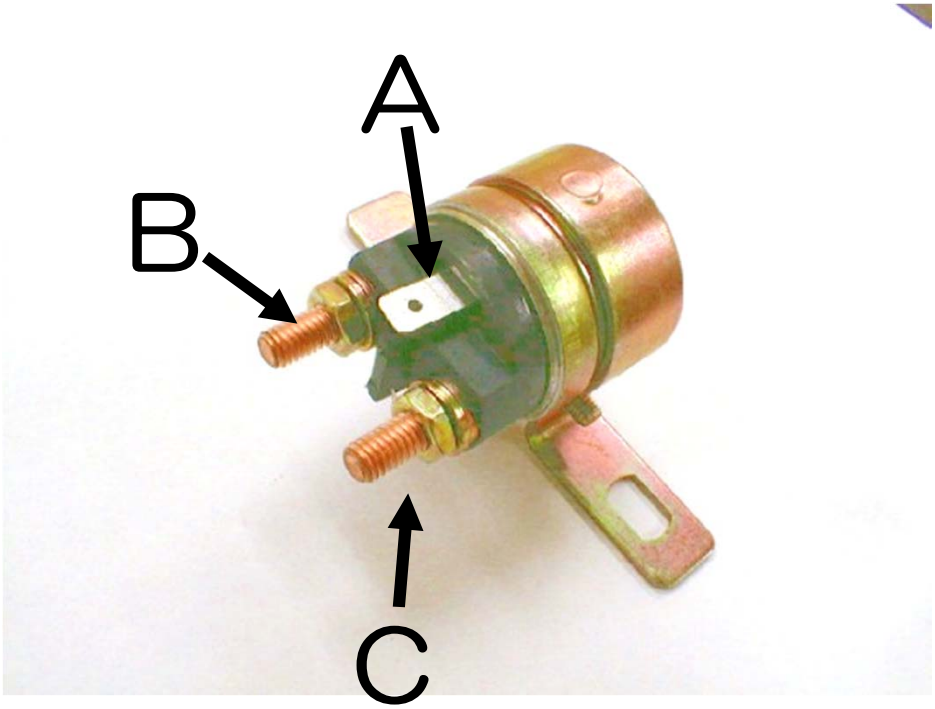
マグネットスイッチ：故障
セルモータ：正常

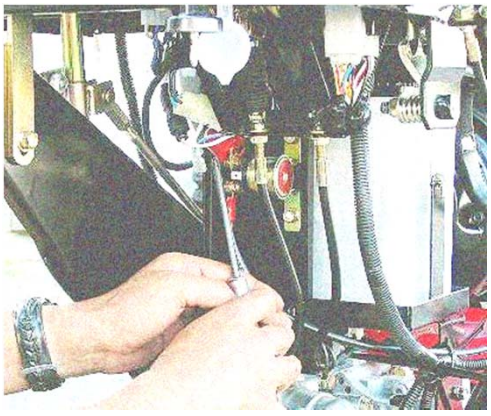
マグネットスイッチを交換する

３．AとBの直結でもBとCの直結でもセルが回らない場合、

セルモータ：故障

セルモータを交換する

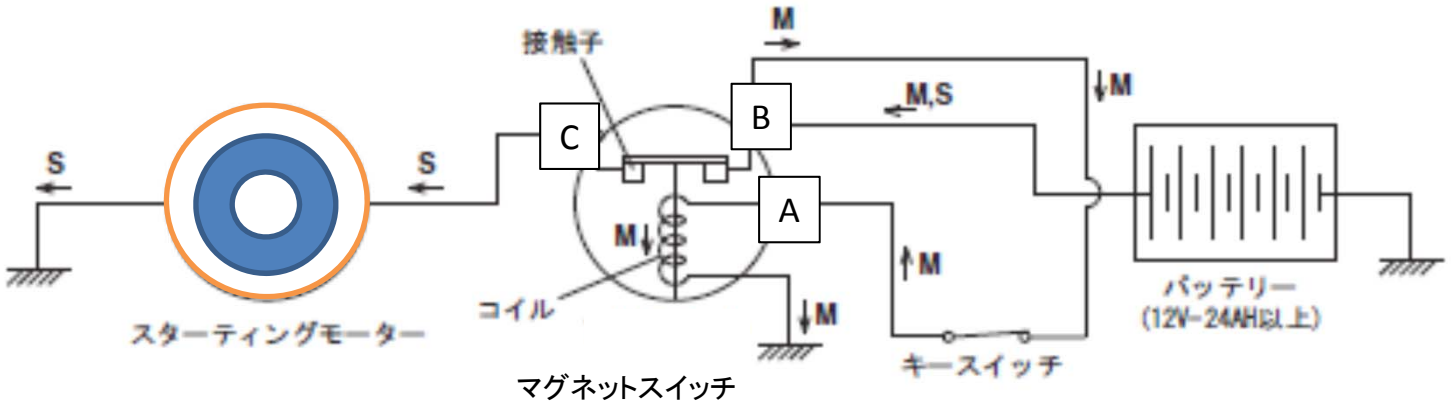


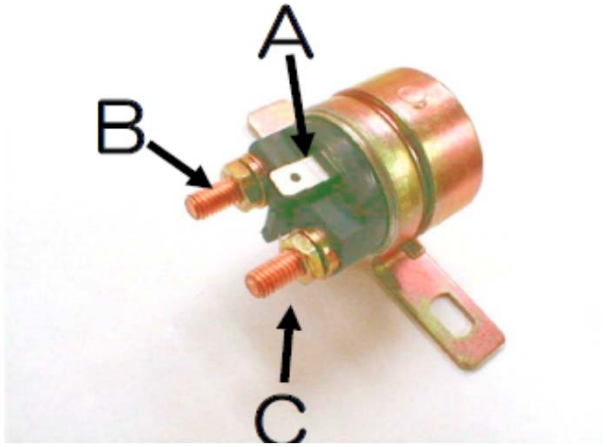


A部だけのコネクタを外して、
ードライバー等で短絡・直結する

作動原理

バッテリーはマグネットスイッチのB端子に接続します。
スターティングモーター「ON」の状態は、下図のようになります。



マグネットスイッチ

通電回路は、マグネットスイッチ作動回路と、スターティングモーター作動回路の2回路になります。
キースイッチを「ON」にすると(M)回路が閉になり、矢印方向に電流が流れ、マグネットスイッチのコイルが励磁されて接触子を吸引します。
するとスターティングモーターに通電されて、エンジンをクランキングします。
従って(M)回路には低電流が流れ、(S)回路には大電流のスターター電流が流れます。